

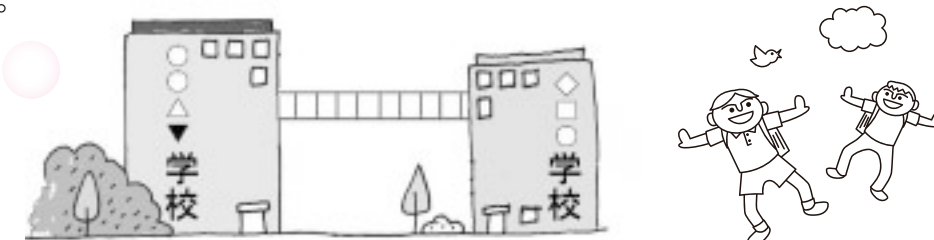
すべての子どもが共に地域で学ぶための



支援プログラム事業

～共学支援事業がはじまります～

社協では17年度から埼玉県社協の委託を受け「すべての子どもが共に地域で学ぶための支援プログラム事業」を実施します。この事業は、盲・ろう・養護学校に在籍する児童生徒や小中学校の特殊学級に在籍する児童生徒、また通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒（学習障害・注意欠陥多動性障害・高機能自閉症など）が教育的ニーズに応じて小中学校や養護学校に行き、学習出来るように支援する事業です。この事業を実施することによって、障がいのない子にとっては障がいのある子に対する差別や偏見といった心の障壁が取り除かれ、障がいのある子にとっては個々のニーズに応じた学習が受けられ地域とのつながりが広がります。共学支援事業に先がけて、騎西養護学校の主催で2月26日と3月2日に「ボランティア育成研修会」が開催され、中学生から社会人まで幅広い参加がありました。参加者の方が、障がいのあるお子さんがいるお母さんから「この子は他の家じゃ見られないからうちに産まれてきたと思って育てているのよ」と聞いたという話がとても印象に残りました。これから地域で何が出来るのか、みなさまと考えながらこの事業を進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。



～福祉教育研修会を実施しました～

福祉教育・ボランティア学習推進員を中心として毎年開催している「福祉教育研修会」も6回目となりました。今回は埼玉県立騎西養護学校で開催させていただき、養護学校の藤崎先生に講話をお願いしました。騎西町と川里町の学校関係者約40名の参加をいただき、障がいのある子どもたちへの理解を深めました。障がいのあるなしにかかわらず、みんなが地域の中で必要とされ生き生きと生きていけるように、これからも福祉教育研修会を続けていきたいと思っています。

